

1. 背景とねらい

近年レタスの栽培は高冷地において重点的に進められており、県内をはじめ主産県において急速に栽培面積が増加している。

そのため、産地間競争は一層激化する様相にあり、産地間競争に勝ち抜くためには生産コストの低減と経営規模拡大による経営の合理化が望まれている。

そこで、レタス栽培農家の実態調査から経営規模別生産実態を明らかにしたのでレタス経営の改善と産地化に資する。

2. 技術内容

1) レタス面積規模別生産実態からみた規模目標

(1) レタス面積規模が大きくなるにしたがい、10a当り収量、品質は向上し、単収の農家間差が少くなり、所得額は1.5ha層まで急速に伸び、それ以上層では漸増傾向を示す。

(2) レタス栽培面積規模が大きくなる程長期安定出荷により有利な販売を実現している。

(3) レタス面積規模別物財費は、機械投資額などの上から、中小規模層では1.5ha層が最も低く、大規模層では大型機械体系となることから3.5ha層において低くなる。

(4) レタス栽培面積が小さい農家ほど品目数が多く、規模が大きくなるほど品目は単一化し、野菜専作化傾向を示す。

(5) 以上のことから、経営安定をめざしたレタス栽培規模目標は中小規模層では1.5~2ha、大規模層では3.5ha以上を目標とすることが良い。

2) レタス経営規模拡大のための条件

(1) レタス面積50~100aの中小規模では耕地に占めるレタスの割合が30~40%と低いので、これを高めることと、借地により規模を拡大する必要がある。

(2) 労働力の分散と長期出荷を行うため、は種間隔は5~6日、1回当りは種面積は10~20aとする。

(3) レタス面積は2.5ha以上層では、作業効率を上げる上から大型トラクター、フォームプレーヤー、マニャスプレッターなど機械装備の充実が必要である。

(4) 定植などの作業技術改善、育苗、除草技術及び機械化体系による省力化が必要である。

3) 適応地域 高冷地帯

3. 指導上の留意事項

1) 自家労働3.0人程度でレタス栽培面積が2.5ha以上層になると収穫のための雇用労働が必要となってくる。

2) レタスの規模拡大をする場合は連作障害を回避するよう品目構成と輪作に留意する。

3) 10a当り作業別労働時間と作業機別利用時間は、奥中山地帯のレタス農家の調査と、高冷地開発センターの試験研究成果を基に作成したものである。

4. 当該事項にかかると試験研究 課題名

高冷地開発のための現地営農実証

5. 参考文献

- 1) 岩手県園芸試験場高冷地開発センター成績書(昭56, 57, 58, 59)
- 2) 奥中山農協野菜生産計画並びに実績書(昭58~60)

6. 試験成績の概要

表1 レタス栽培規模別の収益性試算

レタス 作経営の 収支	1.レタス栽培面積区分(a)	20	50	100	150	200	250	350	500	備 考
	2.10a当たり収量(kg)	1,892	2,034	2,194	2,321	2,349	2,387	2,423	2,513	各栽培面積規模別農家10戸づつの平均
	3.総生産量(kg)	3,784	10,170	21,940	34,815	46,980	59,675	84,805	138,215	56~61年までの奥中山農協における6~10月までの平均価格
	4.1kg当たり単価(円)	163.7	163.7	163.7	163.7	163.7	163.7	163.7	163.7	
	5.総販売金額(千円)	619	1,665	3,592	5,399	7,691	9,769	12,938	22,626	
	6.総生産販売費用(千円)	422	1,108	2,338	3,553	4,689	6,333	8,836	14,638	
	7.総所得(千円)	197	557	1,254	1,846	3,002	3,436	4,102	7,988	
	粗収益	8.販売金額(円)	309,720	332,966	359,158	379,948	384,531	390,752	396,645	411,378
10アール 当たり 生産・ 販売 費用 (円) 所得	9.種苗費	5,284	5,233	5,130	5,079	5,027	4,822	4,925	4,976	コーティング種子使用
	10.肥料費	22,477	22,961	23,444	24,169	24,894	25,377	25,861	26,586	土壌改良資材費を含む
	11.農薬費	7,976	8,973	10,469	9,970	10,269	10,469	10,568	10,668	床土消毒、育苗時、定植後薬剤散布4回
	12.高熱動力費	1,874	1,992	2,109	2,226	2,343	2,414	2,460	2,507	軽油、ガソリン、混合油
	13.諸材料費	20,820	20,618	20,416	20,214	20,011	19,809	19,607	19,405	育苗箱、ペーパーポット、ポリフィルム
	14.建物施設費	554	546	537	530	526	528	536	564	
	15.農機具費	27,806	27,525	27,314	22,035	25,807	31,169	24,450	21,450	
	16.物財費計	86,791	87,848	89,419	84,223	88,877	94,588	88,407	86,156	
	17.雇用労働費						1,596	4,560	14,592	
	18.流通費(資材、予冷、運賃)	84,105	90,558	97,677	103,240	104,575	106,355	107,913	111,918	ダブール 98 円/cs、予冷料 25 円/cs 運賃 95 円/cs、ｽﾀｰﾌﾞﾙ
	19.手数料	40,264	43,286	46,691	49,393	49,989	50,798	51,563	53,479	販売額の13%
	20.生産販売費計	211,160	221,692	233,787	236,856	243,441	253,337	252,443	266,145	
	21.所得(円)	98,560	111,274	125,371	143,092	141,090	137,415	144,202	145,233	
22.所得率(%)	31.8	33.4	34.9	37.7	36.7	35.2	36.4	35.3		
生産 コスト	23.1箱当り物財費	229	216	204	181	189	198	182	171	
	24.1箱(5kg)生産、販売費	558	545	533	510	518	531	521	530	
レタス 面積 150a を 基準 とし た 増 減 率	25.レタス栽培面積	13	33	67	100	133	167	233	367	
	26.総販売額	11	31	67	100	142	181	240	419	
	27.総所得	11	30	70	100	163	186	222	433	
	28.生産、販売量	81	85	91	100	102	105	106	111	
	29.生産、販売費用	89	93	99	100	103	107	107	112	
	30.(うち、農機具費)	126	125	124	100	117	141	111	97	
	31.所得	69	78	88	100	99	96	101	101	
レタス 面積 150a を 基準 とし た 増 減 率	32.1箱(5kg)当り物財費	127	119	113	100	104	109	101	94	
	33.1箱(5kg)当り生産販売費	109	107	105	100	102	104	102	103	
調査戸数(戸)		10	10	10	10	10	7	5		